

防災メモ

活火山の定義変更による分類

火山噴火予知連絡会（会長：井田喜明姫路工業大学教授）は、平成 15 年 1 月 21 日、これまでの活火山の定義を変更して新たに活火山を選定するとともに、活火山を 3 つのランクに分類する検討結果をまとめました。気象庁では、これを受けて、平成 15 年度の早い時期から、新しい活火山の定義等に基づく業務を開始する予定です。

○活火山の定義変更

これまで、我が国では、「過去およそ 2000 年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山としてきました。しかし、国際的には過去 1 万年程度の噴火履歴で定義するのが適切であるとの認識が一般的になりつつあり、火山噴火予知連絡会では活火山の定義を「おおむね過去 1 万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動が認められる火山」に変更するとともに、その定義に基づく新たな活火山の選定を行いました。

活火山の定義変更に係わる新旧対照表

	活 火 山 の 定 義	活火山の数
新	おおむね過去 1 万年以内に噴火した火山及び 現在活発な噴気活動が認められる火山	1 0 8
旧	過去およそ 2000 年以内に噴火した火山及び 現在活発な噴気活動のある火山	8 6

新しい定義に基づく活火山一覧（関東・中部地方）

（注）緯度・経度は、『活火山総覧第 2 版』との整合のため、日本測地系(旧測地系)によりました。
世界測地系による緯度・経度は、今後のカタログで整備する予定です。

1. 新しく追加した活火山（7 火山、図中▲）

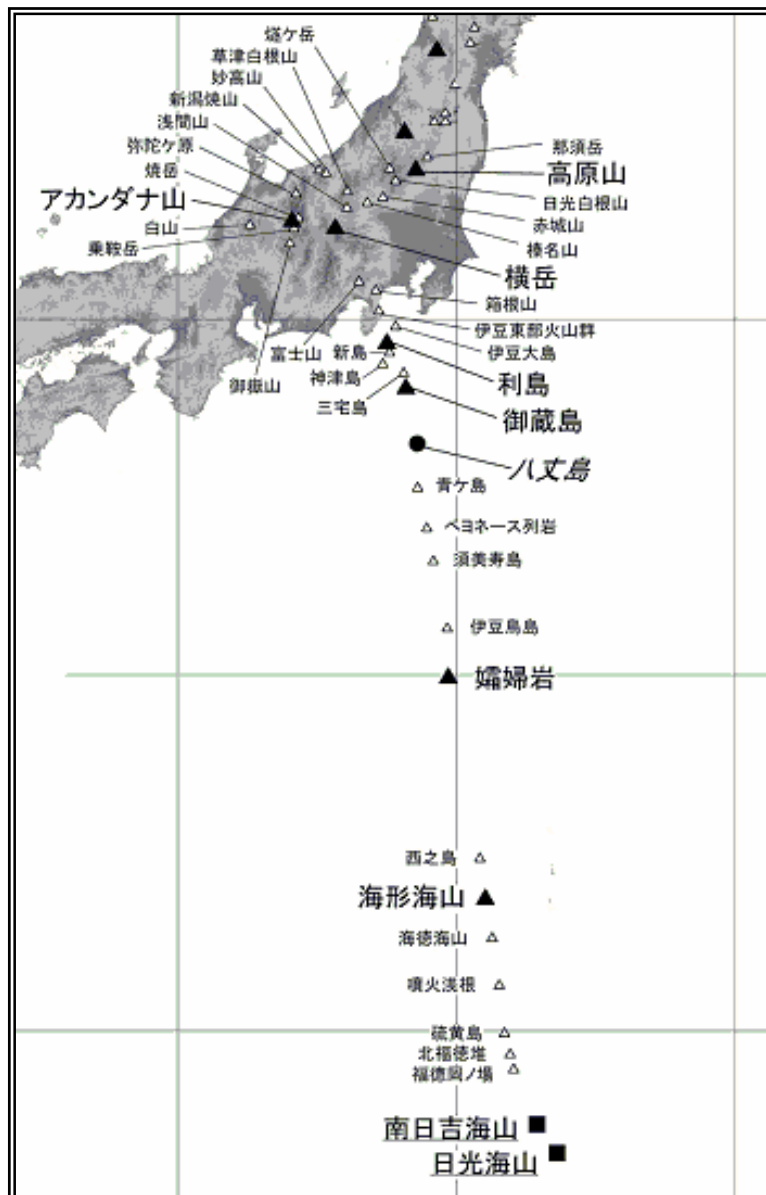
火山名	所在地	北緯	東経	標高・水深(m)	活火山の選定等の理由
高原山	栃木県	36°57'00" 36°53'49"	139°47'31" 139°46'48"	1,184 (富士山) 1,795 (釈迦ヶ岳)	現在、活発な噴気活動があることから、新たに活火山とする。
横岳	長野県	36°05'03"	138°19'24"	2,480 (横岳)	一万年前以降に噴火があることから、新たに活火山とする。
アカンダナ山	長野県・岐阜県	36°11'49"	137°34'32"	2,109	一万年前以降に噴火があることから、新たに活火山とする。
利島	東京都	34°31'01"	139°16'57"	508 (宮塚山)	一万年前以降に噴火があることから、新たに活火山とする。
御蔵島	東京都	33°52'16"	139°36'18"	851 (御山)	一万年前以降に噴火があることから、新たに活火山とする。
孀婦岩	東京都	29°47'23"	140°20'42"	99	周辺の水深 500m 以浅の海域で変色水が確認されていることから、新たに活火山とする。
海形海山	東京都	26°40'	141°00'	-426 (カルデラ底は 930m)	水深 500m 以浅の海域で変色水が確認されていることから、新たに活火山とする。

2. 従来の火山の範囲を変更した活火山（1 火山、図中●）

火山名	所在地	北緯	東経	標高・水深(m)	活火山の選定等の理由
八丈島	東京都	33°08'00" 33°05'18"	139°46'09" 139°48'55"	854(西山) 701(東山)	西山に加えて東山においても、一万年前以降に噴火があることから、活火山の範囲を拡大する。

3. 従来の活火山（南硫黄島南東沖海底火山）の一部を分離独立させ、新たに追加した活火山（2 火山、図中■）

火山名	所在地	北緯	東経	標高・水深(m)	活火山の選定等の理由
南日吉海山	東京都	23°29'45"	141°56'18"	-84	近年、南日吉海山では海底噴火が、日光海山では変色水が確認されている。観測精度が向上し、両火山の活動が区別できるようになっていることから、南硫黄島南東沖海底火山の一部を独立して、南日吉海山と日光海山をそれぞれ活火山とする。
日光海山	東京都	23°04'30"	141°18'30"	-430	



- ▲ : 新たに活火山とする
- : 既存の活火山の範囲を変更する
- : 既存の活火山を分割する火山
- △ : 変更のない既存の活火山